

学校報 小倉山通信

角館中学校 [No.39] H26.1.20(月)発行

今年も、大雪になってしまいました

ご家庭でも、安全への意識付けをお願いします

先週土曜日、『県、大雪で災害対策本部「48豪雪」以来40年ぶり』という報道がありました。

「48」は昭和48年、私が高校生の時です。

豪雪で、いくら待っても通学バスが来ないので、朝は高校まで歩き、帰りはヒッチハイクをしたこともありました。また、担任の先生に「明日はスコップを持って来るように」と言われ、校舎の雪下ろしもしました。ですから、今でも「48豪雪」と聞くとドキッとしてしまいます。

いずれにしましても、保護者の皆様も、除雪、通勤等にはご苦心されていることと思います。

今後、降雪・除雪等により道幅が狭くなり、見通しのきかない箇所が多くなり、さらに、屋根や樹木からの落雪も心配されます。

生徒が安全な生活ができますように、ご家庭でも登下校時等の声かけをよろしくお願いします。



雪の小倉山、体育館の屋根から張り出した雪庇

冬来たいなば 春遠からじ

【イギリスの詩人シェリーの言葉です】

人生の厳しい冬もいつまでも続くわけではなく、希望に満ちた未来がすぐ後ろに控えている。



春、大きく花咲くために 今頑張れ！



昨年の春、満開の桜の下で（桧木内川堤）

シドニーオリンピック（女子マラソン）で金メダルに輝いた高橋尚子さんの言葉を紹介します。

何も咲かない寒い日は、
下へ下へと根を伸ばせ。
やがて大きな花が咲く。

春になれば、角館の桜が満開になります。角中生も、寒く雪の多い冬に、受検勉強、授業、部活動に、地道にコツコツ取り組み、やがて来る春に、大きく飛躍できるようしっかりと力を蓄えてほしいと思います。

栄光・栄誉

仙北地区少年保護育成委員会主催 非行防止・健全育成標語

優良賞 2年 高橋みなみ 「やめようよ 誰かが悲しむ その前に！！」

優良賞 3年 鈴木 廉 「背のびした 君の心は 幼いな！！」

全日本アンサンブルコンテスト 第36回 秋田県大会

打楽器3重奏 銀賞 三浦澄珠 佐々木蘭 小松佳純

第26回 中仙カップ中学校バレーボール大会 第4位



春、大きく花咲くために

甘い言葉に惑わされず、地道にこつこつと！

「小さな労力で大きな成果を手に入れたい」「楽しくお金儲けしたい」という気持ちは誰にでもあると思います。しかし、次のような言葉に惑わされなくて、目的を達成するために、地道にこつこつと努力してほしいと思います。

『横山信弘氏「きれいな事」を真に受けるな』より



●甘い言葉 その1 「無理しないほうがいい」

→ 無理ができるのなら無理をしたほうが、よい良い結果ができることが多くあります。
また、無理をしないと、結果的に無理がきかなくなります。

●甘い言葉 その2 「頑張らなくてももうまくいく」

→ 自分のできる範囲、やれる範囲で何事も実践していると成長はしません。
何事も、頑張らないといけないときがあるのです。

●甘い言葉 その3 「心の底からやりたいと思えることだけやればいい」

→ 「やりたいこと」「やるべきこと」「やれること」の3つの言葉を並べたときに、
「1. やるべきこと」「2. やれること」「3. やりたいこと」の順序が大切です。
「やるべきこと」を頑張り続けることで自分の「やれること」が増えてきます。
そうして「やりたいこと」ができるようになるからです。



春に備えて！ (休み明けテスト中)



春に備えて！ (男子卓球部練習中)

